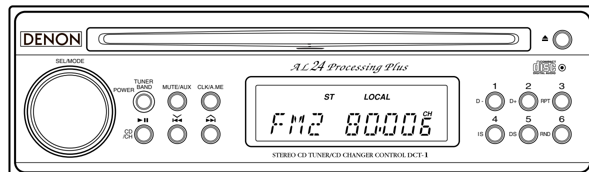
DENON
取扱説明書
DCT-1

STEREO CD TUNER

ステレオ コンパクトディスク・チューナー



安全にお使いいただくために—必ずお守りください。

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- 安全運転のため、ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになった後は、いつでも見られるところ（グローブボックスなど）に必ず保存してください。

目　次

1 使用上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

[絵表示の例]



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指挟まれ注意）が描かれています。



⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



❗記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

⚠ 警告

■安全上お守りいただきたいこと

本機はDC 12V⊖アース車専用です
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。



本機を取り付ける場合は
本機を前方の視界を妨げる場所や、ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けないでください。交通事故やけがの原因となります。



車体に穴を開けて取り付ける場合は
パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないよう注意しておこなってください。火災の原因となることがあります。



車体のボルトやナットを使用する場合は
ステアリング・ブレーキ系統やタンクなどの保安部品は絶対に使用しないでください。これらを使用しますと制動不能や発火の原因となります。



配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外す
ショート事故による感電やけがの原因となります。



車体のボルトやナットを使用してアースをとるときは
ステアリングやブレーキ系統などの保安部品のネジは使用しないでください。事故などの原因となります。



⚠ 警告 つづき

■安全上お守りいただきたいこと

コード類は運転操作の妨げにならないよう、まとめておくなどする
ステアリングやシフトレバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと危険です。



電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取らない
リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管する
万一、お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。



自動車の運転中に音量調節などの操作をしない
このような操作は、必ず安全な場所に車を停止させておこなってください。



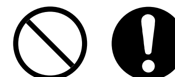
本機を分解したり、改造したりしない
事故・火災・感電の原因となります。



音が出ないなどの故障状態で使用しない
事故・火災・感電の原因となります。



ヒューズを交換するときは
必ず規定容量（アンペア数）のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。



⚠ 警 告 つづき

■安全上お守りいただきたいこと

万一異常が発生したら、直ちに使用を中止する

万一、異物が入った・水がかかかった・煙が出る・変な匂いがするなど、異常が起こりましたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げ販売店にご相談ください。そのまま使用すると事故・火災・感電の原因となります。



⚠ 注 意

■安全上お守りいただきたいこと

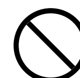
本機の取り付け・配線は

専門技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い上げ販売店に依頼してください。



取り付け用部品は指定通りに使用する

指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を傷めたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。



雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気や埃の多いところへの取り付けは避ける

本機に水や湿気・埃が混入しますと発煙や発火の原因となることがあります。



振動の多いところなど、しっかりと固定できないところへの取り付けは避ける

外れて事故やけがの原因となることがあります。



⚠ 注 意 つづき

■安全上お守りいただきたいこと

アンテナのエレメンスが車幅からはみ出さない場所、また、車の前後からはみ出さない場所を選んで取り付ける
歩行者などに接触して思わぬ事故の原因となることがあります。



本機の通風孔や放熱板をふさがない
通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



本機を天井など不安定なところに取り付けない
正しい設置をおこなわないと、落下などの原因となることがあります。



正規の接続をする
正規の接続をおこなわないと、火災や事故の原因となることがあります。



車体やねじ部分・シートレールなどの可動部に配線をはさみこまない
断線やショートにより、事故や感電・火災の原因となることがあります。



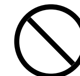
本機を車載用として以外は使用しない
感電やけがの原因となることがあります。



運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。



カセットテープ挿入口やディスク挿入口に異物を入れない
火災や感電の原因となることがあります。



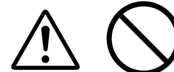
⚠ 注 意 つづき

■安全上お守りいただきたいこと

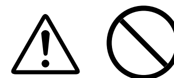
カセットテープ挿入口やディスク挿入口に手や指を入れない
けがの原因となることがあります。



指定の電池以外は使用しない
乾電池の破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚染する原因となることがあります。



電池を機器内に挿入する場合は
極性（⊕・⊖）に注意し、表示通りに入れてください。間違えますと乾電池の破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚染する原因となることがあります。



2 取り扱い上のご注意

結露現象について

■ **結露とは**

冬期に暖房をした車内の窓ガラスに水滴がつくような現象をいいます。

■ **結露が起こる条件は**

車内の温度を暖房などで急に上げたりすると本機内部の動作部に露がつき、正常に動作しなくなることがあります。

結露は、夏にエアコンの風が直接当たるところでも起こることがあります。

■ **結露後の処置は**

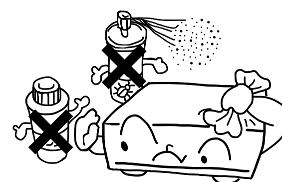
結露が起こった場合は、電源を入れてしばらく放置しておいてください。周囲の状況によって異なりますが、1～2時間で使用できるようになります。

お手入れについて

■ キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは、柔らかい布を使用して軽く拭き取ってください。

◎化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると変質したり変色することがありますので使用しないでください。



■ **清掃のときは必ず自動車のアクセサリー電源を切ってください。**

操作について

■ **本機を取り付けた車を直接日光の当たる場所など極めて高温なところや、冬期など極めて低温なところに放置した場合、本機のフロントパネルにある ❶ 調節つまみや各種ボタンも同様に高温または低温になります。**
本機を操作する際には、十分気をつけて操作してください。

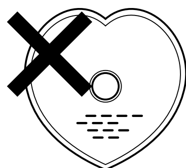
■ 本機からディスクをイジェクトする際は、車のシフトレバーなどがディスク排出の妨げにならないよう注意してください。

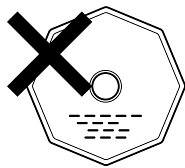
3 ディスクの取り扱いとご注意

ディスクについて

本機では、右のマークが入ったディスクをご使用ください。
但し、ハート型や八角形など特殊形状のディスクは再生できません。機器の故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。







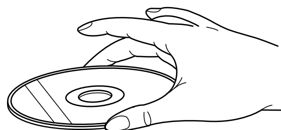
ご注意

- CD-RやCD-RWのディスクは、本機では再生できません。

ディスクの持ちかた

ディスクを装着したり取り出すときは、できるだけ表面を触らないようにしてください。

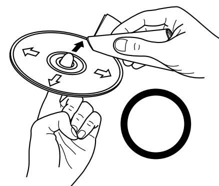
信号記録面（虹色に光っている面）には、指紋などを付けないようにしてください。



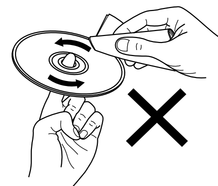
ディスクのお手入れのしかた

■ ディスクに指紋や汚れが付いたときは、汚れを拭き取ってから使用してください。ディスクの信号には影響しませんが、音質が低下したり音が途切れることがあります。

■ 拭き取りには、市販のディスククリーニングセットまたは柔らかい布などを使用してください。



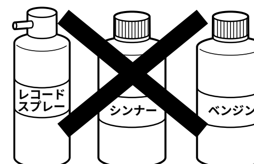
内周から外周方向へ軽く拭く。



円周に沿っては拭かない。

ご注意

- レコードスプレー、帯電防止剤などは使用できません。ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品も使用しないでください。



取り扱いについてのご注意

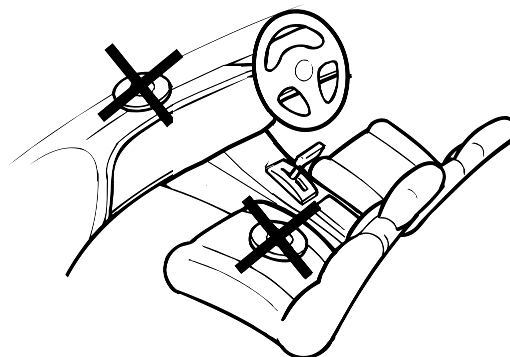
- 指紋、油、ゴミなどをつけないでください。
- 表面に傷を付けないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。
- 曲げたりしないでください。
- 熱を加えないでください。
- 中心の穴を大きくしないでください。
- レーベル面（印刷側）にボールペンや鉛筆などで文字を書かないでください。
- 屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと表面に水滴がつくことがありますが、ヘアードライヤーなどで乾かさないでください。

ディスクを装着する際のご注意

- **本機では8cmディスクがそのまま再生できます。**
- **8cmディスクにシングルCDアダプターを使用しないでください。**
- ディスクは1枚だけ装着してください。2枚以上重ねて装着すると故障の原因になり、ディスクを傷つけることにもなります。
- ディスク以外のものをディスク挿入口に入れないでください。
- ひび割れ、変形または接着剤などで補修されたディスクは使用しないでください。
- ディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因になることがあります。

保存についてのご注意

- 再生後は必ずディスクを取り出してください。
- ほこり、傷、変形などを避けるため、必ずケースに入れてください。
- 次のような場所にはディスクを置かないでください。
  1. 直射日光が長時間当たるところ
  2. 湿気、ほこりなどが多いところ
  3. 暖房器具などの熱が当たるところ



4 本機の特長

DCT-1は、高度なデジタルテクノロジーを投入した、CDチェンジャーコントロール機能搭載のバランス出力対応カーCDプレーヤーです。
次世代メディアを見据えたアナログ波形再生技術AL24 Processing Plusを搭載し、さらにAL24 Processing Plusのもつハイクオリティを最大限に活かすため、アドバンスド・マルチ24ビットD/Aコンバーターを採用、併せて厳選された部品と音質重視の回路設計により優れた音質を満喫することができます。
なお、本機をご使用いただくには市販のパワーアンプが必要です。

1. AL24 Processing Plus
従来のAL24 Processingの技術を継承し、次世代メディアのハイビット化、ハイサンプリング化に対応した技術です。

2. アドバンスド・マルチ24ビットD/Aコンバーターと高音質ラインアンプ
AL24 Processing Plusにより得られた24ビットのハイクオリティデータを忠実にD/A変換するために採用しました。さらに、高音質を損なわないようにアンプへ導くため高音質ラインアンプを採用、お手持ちのCDを原音に忠実に再生します。

3. デジタルアウトに光出力を装備
本機で再生するCDのデジタル音声情報のみを出力します。

4. 外部機器を接続できる外部アナログ入力端子を装備
MDなどの外部機器を外部アナログ入力端子（RCAピン）にて接続できます。

5. 筐体に銅メッキシャーシを採用
空中あるいは電気経路から回路に飛び込む外部ノイズを抑えます。

6. 外部ノイズの影響を受けにくいバランス伝送を採用
余裕あるダイナミックレンジとS/Nを確保するため、電源にDC/DCコンバーター回路を取り入れ、音質重視のバランス出力専用回路と合わせてハイレベルプリアウトを実現します。

7. 信号を劣化させないソースダイレクト機能を採用
バス、トレブル回路をパスすることにより信号の忠実再生を実現します。車内の環境によりバス、トレブルが必要な際には、ソースダイレクト機能を解除することにより操作も可能です。

8. RCAピン入出力端子に音質重視の大型金属タイプ端子と純銀ケーブルを採用
パワーアンプとの接続を確かなものとするため、大型金属タイプのRCAピン入出力端子を採用しました。合わせて、純銀ケーブルにより音質の劣化を抑えます。

9. 車内外の状況に応じて瞬時に音量コントロールできるアナログフィーリングボリウムを採用

5 付属品について

★本体とは別に下記の付属品がついています。
ご使用の前にご確認ください。

①電源コード
（あらかじめ本機に取り付けてあります）・・・・・・・・・・・・1本
②プレート（取扱説明書と同梱してあります）・・・・・・・・・・1枚
③ハードフレーム ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1個
④取り付けネジ一式（取扱説明書と同梱してあります）
M5×6mm 皿ネジ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4本
M5×6mm トラスネジ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4本
⑤取扱説明書（本書）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1冊
⑥保証書（取扱説明書と同梱してあります）

6 保証とサービスについて

1 この商品には、保証書が添付されております。保証書は、所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

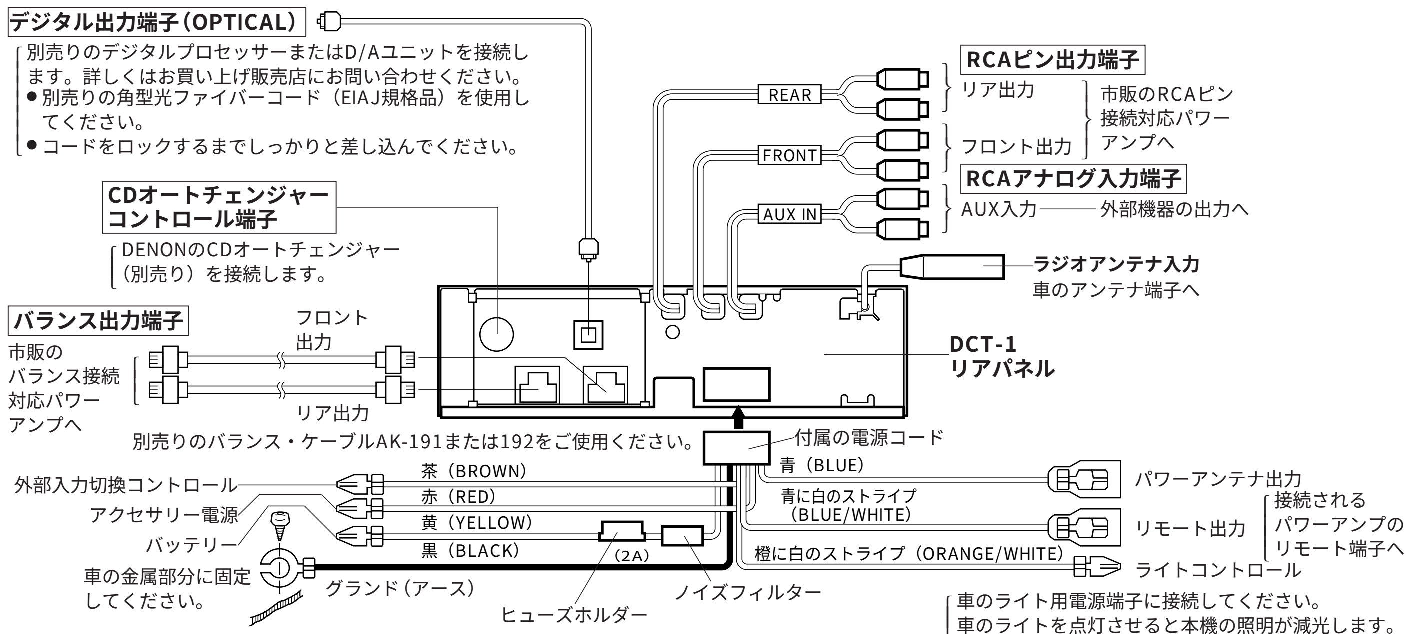
2 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店が修理を申し受けます。
但し、保証期間内でも保証書を添付されない場合は、有料修理となりますので、ご注意ください。
詳しくは、保証書をご覧ください。

3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店でご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

4 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5 なお、保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

7 接続のしかた（本機を車にインスールする際、必ずバッテリーの⊖端子を外してください。）

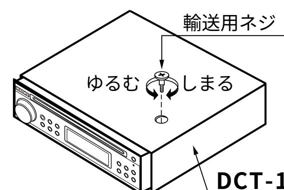


ご注意

- **付属の電源コードは本機専用です。本機以外にはご使用にならないでください。**
- バランス出力端子は一部接続できないパワーアンプがあります。詳しくはお買い上げ販売店にお問い合わせください。
- バランス出力端子とRCAピン出力端子を同時に使用しないでください。ノイズが発生することがあります。
- 付属の電源コードを正しく接続してから本機のコネクターを挿入してください。
- ギボシ端子は少しの力で抜けないようしっかりと挿入してください。
- 各端子は絶縁されていることを確認してください。
- リモート出力、パワーアンテナ出力の最大電流容量は500mAです。これらの出力をパワーアンプやRFモジュレーターなどの電源としてご使用にならないでください。本機が破損することがあります。

8 本機の取り付けかた

■輸送用ネジについて



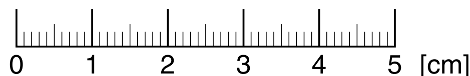
本機の取り付けの前に必ず、本機天面の輸送用ネジを取り外してください。輸送用ネジを外さずに本機を使用すると故障の原因となります。また、外した輸送用ネジは大切に保管し、再輸送をおこなう際には必ず取り付けてください。

■ 次のような場所への設置はおやめください。

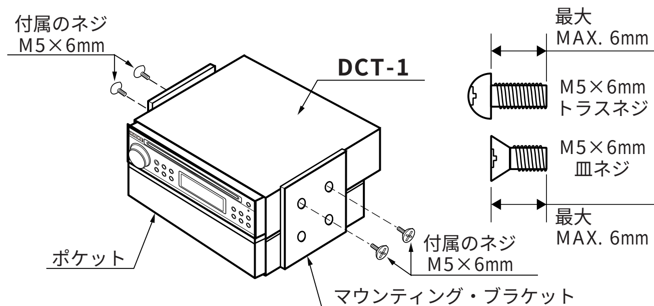
◎ヒーターの吹き出し口近辺
◎直射日光の当たる場所
◎グローブボックスのふたの開閉の妨げになるところ
◎雨や湿気にさらされる場所
◎自動車の運転の障害となる場所
◎セットの重量を支えることのできない不安定な場所

ご注意

- **本機の車への取り付けが不完全な場合、走行による振動などでCD再生に支障をきたすことがあります。**その際は正しく取り付けていただくか、お買い上げ販売店にご相談ください。
- 接続間違いにより、セットや自動車の電気系統が破損するのを防ぐため、セットを設置する前に、バッテリーの⊖端子を外してください。
- すべての接続が終わりましたら、もう一度この取扱説明書に従い、必ず各接続を確認してください。また、セット取り付け時に取り外した自動車の部品を元に戻し、バッテリーの⊖端子を元通りに接続し直してください。
- 車のブレーキランプやライト、ホーン、ウインカーなど、すべての電装品が正しく動作することを確認してください。
- 6mmより長いネジを使用すると装置を破損する恐れがあります。
- 本機にマウンティングブラケットやポケットは付属していません。
- マウンティングブラケットがない場合は、厚さ1mmのブラケットを使用して本機を取り付けてください。
- 車種によってはポケットと本機（DCT-1）を図の位置と逆に取り付ける場合もあります。
- 一部取り付けの際、加工が必要な車種があります。
  その際はお買い上げ販売店にご相談ください。



■ **取り付けかた**

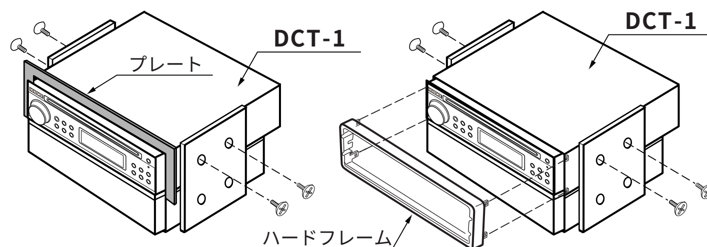


1. 元のカーステレオ装置を取り外します。

2. 元のカーステレオが搭載されていたマウンティングブラケットを使用して、付属の皿ネジまたはトラスネジで本機を取り付けます。

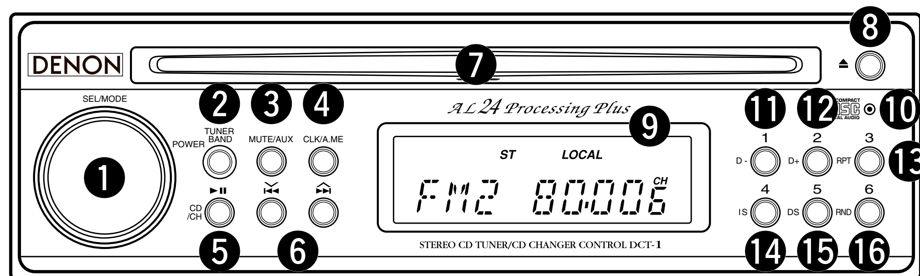
※ 本機は水平面から＋30度以内に取り付けてください。

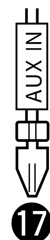
■センターコンソール開口部が本機のフロントパネル外形寸法に比べて大きい場合、付属のプレートまたはハードフレームを本機のフロントパネルに挿入して車に取り付けます。



【プレートの場合】　【ハードフレームの場合】

9 各部の名前とはたらき





茶色

❶ ボリウム（VOL）/バランス（BAL）/バス（BASS）/トレブル（TREB）/フェーダー（FAD）/AUXボリウム（AUX LV）/● モード切換（MODE）/○ 時刻調整つまみ

❷ ● 電源（POWER）スイッチ/ラジオモード切換（TUNER BAND）ボタン

❸ ミューティング（MUTE）/● 外部入力切換（AUX）ボタン

❹ 時計表示切換（CLK）/● オート・メモリー（A. ME）ボタン/○ 時計調整ボタン

❺ ● CDモード切換（CD/CH）/プレイ/ポーズ（▶II）ボタン

❻ シーク選局/● マニュアル選曲ボタン
オートマチックサーチ/● マニュアルサーチボタン

❼ CD挿入口

❽ CDイジェクトボタン（⏏）

❾ ディスプレイ

❿ リセットスイッチ

⓫ プリセットコール1ボタン/● プリセットメモリー1ボタン/ディスクチェンジ（D －）ボタン

⓬ プリセットコール2ボタン/● プリセットメモリー2ボタン/ディスクチェンジ（D ＋）ボタン

⓭ プリセットコール3ボタン/● プリセットメモリー3ボタン/リピート（RPT）ボタン

⓮ プリセットコール4ボタン/● プリセットメモリー4ボタン/イントロ・スキャン（I S）ボタン

⓯ プリセットコール5ボタン/● プリセットメモリー5ボタン/ディスク・スキャン（D S）ボタン

⓰ プリセットコール6ボタン/● プリセットメモリー6ボタン/ランダム（RND）ボタン

⓱ 外部入力切換コントロール端子

● 印がある機能は2秒以上押しの操作ではたらきます。

○ 印がある機能は本機電源がオフのときのみはたらきます。

10 操作のしかた

電源のオン/オフ

《電源オン》

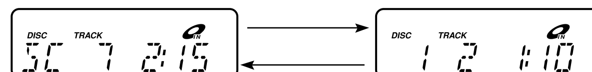
電源がオフのときにCDを聞きたいときは❺ CD/CH ►II ボタン、ラジオを聞きたいときは ❷ POWER TUNER BAND ボタン、外部機器（アナログ）を聞きたいときは ❸ MUTE/AUX ボタンを押してください。電源がオンになり、『CD』、『CDオートチェンジャー』、『TUNER』または外部機器（アナログ）が再生されます。

《電源オフ》

本機が動作しているときに ❷ POWER TUNER BAND ボタンを2秒以上押すと電源が切れ、ディスプレイとバックライトが消えます。電源がオフのときに ❹ CLK/A.ME ボタンを2秒以上押すことで時計の調整をおこなうことができます。詳しくは28ページを参照してください。

ファンクションの切り替え（CDオートチェンジャーを接続してください）

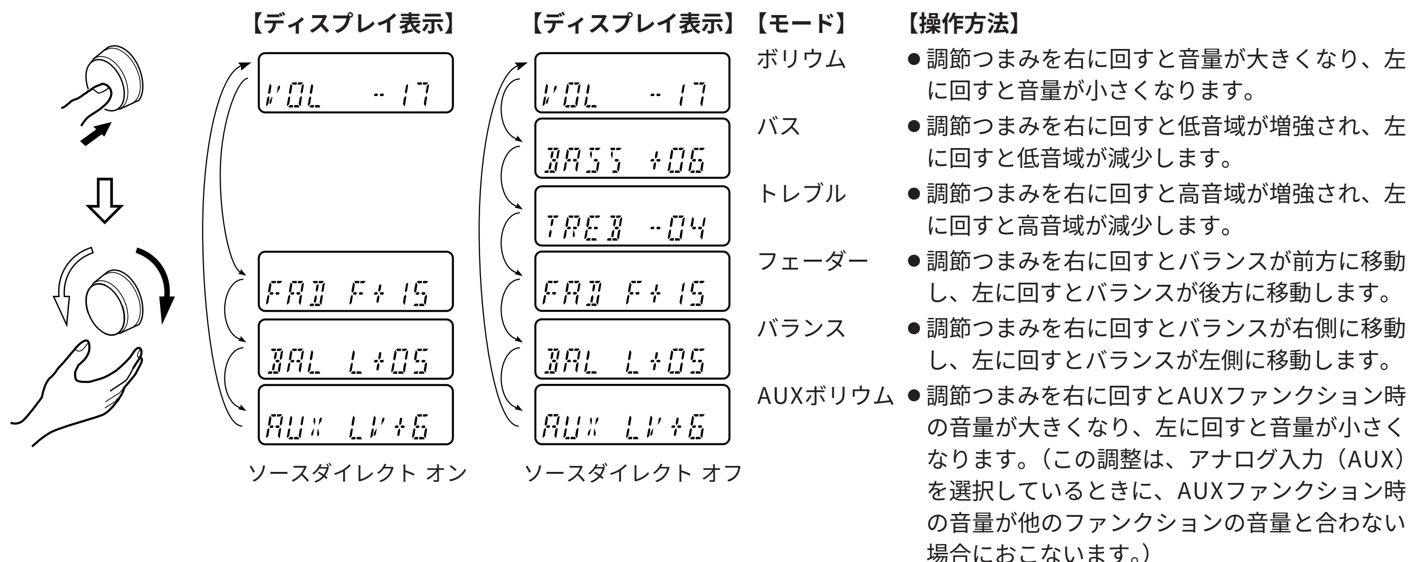
1. ラジオを聞いているときにCDを聞きたい場合は ❺ CD/CH ►II ボタンを押してください。
   CD再生中にラジオを聞きたい場合は ❷ POWER TUNER BAND ボタンを押してください。
2. CD再生中にCDからCDオートチェンジャーモードに切り替えるときは、❺ CD/CH ►II ボタンを2秒以上押してください。
   CDオートチェンジャーモードのときにCDを再生するときは、❺ CD/CH ►II ボタンを2秒以上押してください。CDモードに戻ります。



3. ラジオ、CDもしくはCDオートチェンジャーモードから外部機器を聞きたい場合は、❸ MUTE/AUX ボタンを2秒以上押してください。
   アナログ入力に交互に切り替わります。
4. 外部機器（アナログ）からラジオを聞きたい場合は ❷ POWER TUNER BAND ボタンを、CDもしくはCDオートチェンジャーモードを聞きたい場合は ❺ CD/CH ►II ボタンを押してください。

サウンド調整

● 音量は、❶調節つまみを回して調節します。❶調節つまみを押すと、サウンド調整モードは次の順序で切り替わります。
● 5秒間操作がない場合、調整モードが解除され元の表示に戻ります。



【モード】	【操作方法】
ボリウム	● 調節つまみを右に回すと音量が大きくなり、左に回すと音量が小さくなります。
バス	● 調節つまみを右に回すと低音域が増強され、左に回すと低音域が減少します。
トレブル	● 調節つまみを右に回すと高音域が増強され、左に回すと高音域が減少します。
フェーダー	● 調節つまみを右に回すとバランスが前方に移動し、左に回すとバランスが後方に移動します。
バランス	● 調節つまみを右に回すとバランスが右側に移動し、左に回すとバランスが左側に移動します。
AUXボリウム	● 調節つまみを右に回すとAUXファンクション時の音量が大きくなり、左に回すと音量が小さくなります。（この調整は、アナログ入力（AUX）を選択しているときに、AUXファンクション時の音量が他のファンクションの音量と合わない場合におこないます。）

ソースダイレクト機能

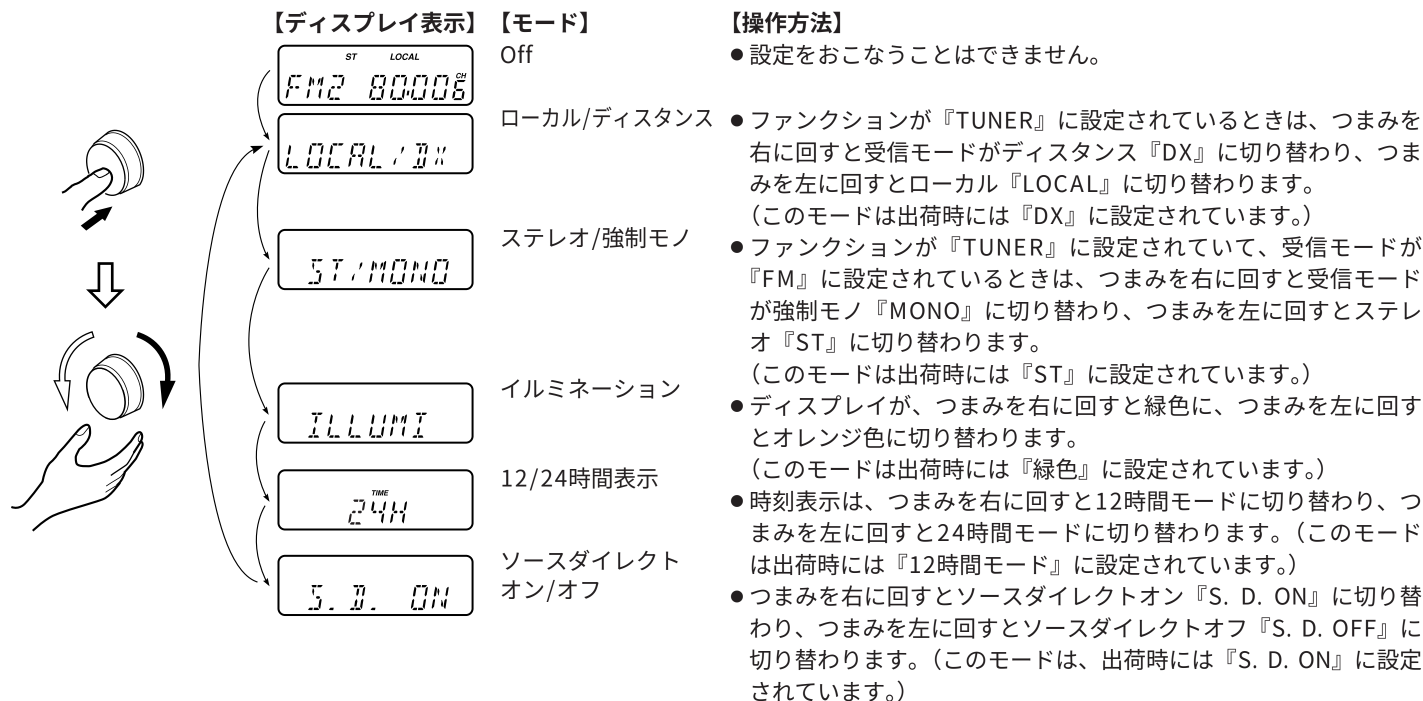
ソースダイレクト機能は、トーン機能（バス・トレブル）を通さないことで信号の忠実再生を実現する機能です。（出荷時には『ソースダイレクト・オン』に設定されています。）
通常はソースダイレクト オンで使用して、音質に調整が必要な場合は、ソースダイレクト オフで使用してください。
詳しくは、19ページを参照してください。

ミュート機能

❸ MUTE/AUX ボタンを押すとミュート状態になり、音が消えます。ディスプレイに“ MUTE ”表示が点灯します。
この機能を解除するときは、❸ MUTE/AUX ボタンをもう一度押してください。

モードの切り替えと設定

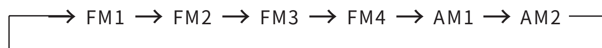
- ❶調節つまみを2秒以上押すと切り替えモードに入ります。❶調節つまみを使用して、いろいろなモードを設定することができます。
- モードは❶調節つまみを押すたびに切り替わります。各モードで設定をおこなうときは、❶調節つまみを使用してください。
- 5秒間操作がない場合、その時点でのモードが解除され、ディスプレイはモードがオフになっているときの状態に戻ります。



【ディスプレイ表示】	【モード】	【操作方法】
FM2 80006	Off	● 設定をおこなうことはできません。
LOCAL/DX	ローカル/ディスタンス	● ファンクションが『TUNER』に設定されているときは、つまみを右に回すと受信モードがディスタンス『DX』に切り替わり、つまみを左に回すとローカル『LOCAL』に切り替わります。（このモードは出荷時には『DX』に設定されています。）
ST/MONO	ステレオ/強制モノ	● ファンクションが『TUNER』に設定されていて、受信モードが『FM』に設定されているときは、つまみを右に回すと受信モードが強制モノ『MONO』に切り替わり、つまみを左に回すとステレオ『ST』に切り替わります。（このモードは出荷時には『ST』に設定されています。）
ILLUMI	イルミネーション	● ディスプレイが、つまみを右に回すと緑色に、つまみを左に回すとオレンジ色に切り替わります。（このモードは出荷時には『緑色』に設定されています。）
24H	12/24時間表示	● 時刻表示は、つまみを右に回すと12時間モードに切り替わり、つまみを左に回すと24時間モードに切り替わります。（このモードは出荷時には『12時間モード』に設定されています。）
S. D. ON	ソースダイレクト オン/オフ	● つまみを右に回すとソースダイレクトオン『S. D. ON』に切り替わり、つまみを左に回すとソースダイレクトオフ『S. D. OFF』に切り替わります。（このモードは、出荷時には『S. D. ON』に設定されています。）

ラジオを聞くには

1. ❷ POWER TUNER/BAND ボタンを押すと、チューナーがオンになります。
2. もう一度 ❷ POWER TUNER/BAND ボタンを押すと、FMまたはAMのいずれかが選択されます。
受信バンドは、ボタンを押すたびに次の順序で切り替わります。



3. ❻ ⏮ ⏭ ボタンを使用して、希望の周波数に設定してください。
ステレオ放送を受信しているときは、ディスプレイに“ ST ”が表示されます。
選局のしかたには、下記のように2通りの方法があります。

（1）シーク選局

❻ ⏮ ボタンまたは ⏭ を押すと、周波数は連続的に変化して自動選局をはじめます。

⏭ ― 周波数をアップするときはこのボタンを押してください。放送局が見つかると選局は自動的に停止します。

⏮ ― 周波数をダウンするときはこのボタンを押してください。放送局が見つかると選局は自動的に停止します。

※信号の弱い放送局ではシーク選局が停止しません。このような放送局に合わせるときは、マニュアル選局を使用してください。

● シーク選局で信号の強いローカル放送局だけを聞きたいときは、受信モードをローカルモードにしてください。通常はディスタンスモードをおすすめします。
（受信モード切り替えの説明は19ページを参照してください。）

● 受信モードがローカルに設定されているときはディスプレイに“ LOCAL ”表示が点灯します。受信モードがディスタンスモードに設定されているときは“ LOCAL ”表示が消灯します。

（2）マニュアル選局

信号が弱く、シーク選局で自動的に選局できないときは、マニュアル選局で放送局を合わせてください。

⏭ ― このボタンを2秒以上押すと、周波数が1ステップずつアップします。さらにボタンを押し続けると周波数は連続的にアップし、ボタンを離すと停止します。

⏮ ― このボタンを2秒以上押すと、周波数が1ステップずつダウンします。さらにボタンを押し続けると周波数は連続的にダウンし、ボタンを離すと停止します。

ご注意

● ラジオモードでは本機背面にあるデジタル出力端子（OPTICAL）からはデジタル信号は出力できません。

FM24局とAM12局のプリセットメモリー

ボタン1〜6を使用して、FM24局とAM12局をプリセットすることができます。メモリーされた放送局をワンタッチで、選局することができます。

例：FM1のプリセットボタン1で80.00MHzをプリセット。

1. シーク選局またはマニュアル選局を使用して、FM1 80.00MHzに合わせてください。
2. プリセットボタン1（⓫ D- 1）を2秒以上押してください。
3. 約2秒後、“ピッ”という音がします。
4. ディスプレイに“CH1”が表示されます。これでこの放送局はプリセットボタン1にメモリーされました。

- 同様にして他の放送局もメモリーします。放送局がメモリーされているボタンを押すだけでプリセットした放送局を直接選局することができます。

オートメモリーシステムの使いかた

この機能は、放送局の周波数が分からない地域で、放送局を自動的に探してプリセットボタンにメモリーすることができます。放送局はFM3、FM4、およびAM2のバンドに自動的にメモリーされますので、普段お聞きになる放送局をFM1、FM2、およびAM1のバンドにメモリーすれば、この機能を使用することで、いつも聞かれる放送局を消去することなしに、普段と違う地域でもすばやく選局をおこなうことができます。

1. ❻ ⏮ ⏭ ボタンを押して、サーチを開始したい周波数を選んでください。
2. ❹ CLK/A.ME ボタンを3秒以上押してください。
3. ディスプレイに“A.MEMO”が表示されます。帯域がFMの場合は自動的にFM3またはFM4に切り替わります（FM3バンドに6局がメモリーされると7局目からはFM4バンドにメモリーされます）。
   AMの場合はAM2に切り替わります。そして受信状態のよい放送局がプリセットボタン1〜6に順にメモリーされます。
4. 放送局がFMの場合はFM3およびFM4（AMの場合はAM2）にメモリー動作が終了すると、“A.MEMO”表示は消えます。
5. FM1、FM2またはAM1バンドに戻るときは ❷ POWER TUNER BAND ボタンを押してください。

ご注意

- 放送局はマニュアルでもFM3、FM4およびAM2のバンドにメモリーすることができます。但し、オートメモリー機能を使用すると、これらの放送局は受信状態のよい新たな放送局に置き換えられます。
- 受信状態の良好な放送局がFMで12局（AMで6局）より少ない場合は、放送局がメモリーされた最後のプリセットボタンの番号がディスプレイに表示されます。
- まれにオートメモリー機能を使用したとき、受信状態が悪いなどの理由により、放送局がメモリーされないことがあります。

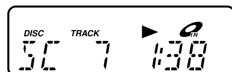
ステレオ/強制モノ機能

この機能は、FM受信時にステレオ放送が聞こえにくいか、またはノイズの混信があるときに使用します。これにより、ステレオ受信がモノラルに切り替えられノイズの少ない放送が楽しめます。

※この機能のオン/オフ切り替えについては19ページを参照してください。
※この機能を設定すると、ステレオ放送が受信されていても、サウンドは常にモノラルで再生されます。

コンパクトディスクを聞くには（CDまたはCDオートチェンジャー）

1. ❺ CD/CH ►II ボタンを押してCDファンクションを選んでください。CDの再生を開始します。
   "►" 表示と現在再生中のディスク番号、曲番、再生時間がディスプレイに表示されます。



   CD再生中に❺ CD/CH ►II ボタンを押すと、一時停止状態になります。❺ CD/CH ►II ボタンをもう一度押すと再生が再開します。
2. ❽ ⏏ ボタンを押すと、CDがイジェクトされます。（CDがイジェクトされるとCDスタンバイの状態となり、時計表示に変わります。）

ご注意

● CDが装着されているときは、ディスプレイに " " が表示されます。

ディスク交換（CDオートチェンジャーを接続してください）

1. CDオートチェンジャーモードに設定してください。（17ページを参照してください）
2. ⓬ D+ 2 ボタンを押すと、次のディスクに進んで最初の1曲目から再生を開始します。
3. ⓫ D- 1ボタンを押すと、前のディスクに戻って1曲目から再生を開始します。交換されたディスクの番号がディスプレイに表示されます。

ご注意

● CDオートチェンジャーモードでは本機背面にあるデジタル出力端子（OPTICAL）からはデジタル信号は出力できません。

トラックサーチのしかた

（1）オートマチックサーチ

1. ❻ ⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押すと、オートマチックサーチ機能で希望の曲を選択し、再生を開始します。
2. ❻ ⏭ ボタンを押すと、次の曲を探して曲の頭から再生を開始します。
3. ❻ ⏮ ボタンを押すと、再生中の曲の頭に戻って再生を再開します。

※ サーチしている曲の曲番がディスプレイに表示されます。

（2）マニュアルサーチ

1. ❻ ⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを2秒以上押すと、マニュアルサーチ機能で希望の曲のサーチやディスクの早送り/早戻し再生ができます。
2. ❻ ⏭ ボタンを押し続けると、ディスクが早送りで再生されます。
3. ❻ ⏮ ボタンを押し続けると、ディスクが早戻しで再生されます。

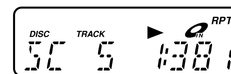
※ この時は、通常の再生時より低い音量で再生されます。

リピート再生のしかた

（1）1曲リピート

★この機能は1曲のみをくり返し再生するときに使用します。

1. ⓭ RPT　３ボタンを1回押してください。
   ディスプレイに“RPT 1”が表示され、現在再生中の曲がくり返し再生されます。



※ 1曲リピート機能を解除するには、⓭ RPT　３ボタンをくり返し押すかまたは別のCDコントロールボタンを押してください。

（2）1ディスクリピート
（CDオートチェンジャーを接続してください。）

★この機能は1枚のCDをくり返し再生するときに使用します。

1. CDオートチェンジャーモードに設定してください。
   （17ページを参照してください）
2. ⓭ RPT　３ボタンを2回押してください。
   ディスプレイに“RPT A”が表示され、現在再生中のディスク全体がくり返し演奏されます。



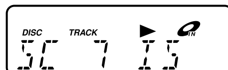
※ 1ディスクリピート機能を解除するには、⓭ RPT　３ボタンを1回押すかまたは別のCDコントロールボタンを押してください。

※ 本機のCDを演奏しているときは、リピートボタンを押していない場合でも本機のディスクがくり返し演奏されます。

イントロスキャン

★ この機能は聞きたい曲を検索するときに使用します。

1. ⑭ IS　4 ボタンを押してください。
ディスプレイに“ IS ”が表示され、各曲の最初の15秒間が再生されます。



※ イントロスキャンを停止するときは、⑭ IS　4 ボタンをもう1度押すか、または別のCDコントロールボタンを押してください。

ディスクスキャン（CDオートチェンジャーを接続してください）

★ この機能は聞きたいディスクを検索するときに使用します。

1. CDオートチェンジャーモードに設定してください。
（17ページを参照してください）
2. ⑮ DS　5 ボタンを押してください。
ディスプレイに“ DS ”が表示され、CDオートチェンジャー内のすべてのディスク（1トラック目）の最初の15秒間が再生されます。

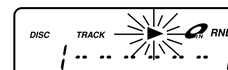


※ ディスクスキャン機能を解除するときは、⑮ DS　5 ボタンをもう1度押すか、または別のCDコントロールボタンを押してください。

ランダム再生のしかた

（1）1ディスク

1. ⑯ RND　6 ボタンを1回押してください。
ディスプレイに“ RND 1 ”が表示され、現在再生中のディスクの曲がランダムな順序で再生されます。



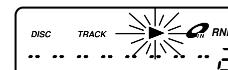
2. ⑥ ボタンを押すと、ランダムに選択された次の曲の再生を開始します。

※ ランダム再生機能を解除するときは、“ RND 1 ”または“ RND 2 ”が消えるまで ⑯ RND　6 ボタンを押すか、または別のCDコントロールボタンを押してください。

（2）全ディスク

★ この機能では、CDオートチェンジャー内のディスクだけがランダムな順序で再生されます。

1. CDオートチェンジャーモードに設定してください。
（17ページを参照してください）
2. ⑯ RND　6 ボタンを2回押してください。
ディスプレイに“ RND 2 ”が表示され、すべてのディスクのすべての曲がランダムな順序で再生されます。



3. ⑥ ボタンを押すと、ランダムに選択された次の曲の再生を開始します。

※ ランダム再生機能を解除するときは、“ RND 1 ”または“ RND 2 ”が消えるまで ⑯ RND　6 ボタンを押すか、または別のCDコントロールボタンを押してください。

エラー表示

本機を操作しているときに次のエラー表示のいずれかがディスプレイに表示された場合は、下表に指示されている処置をおこなってください。
処理をおこなっても正しく動作しないときは、28ページのリセットスイッチを押してください。

エラー表示	エラーの原因	処　　置
NO MAG.	ディスクマガジンがCDオートチェンジャーに装着されていません。	ディスクを装着したディスクマガジンをCDオートチェンジャーに装着してください。
NO DISC	ディスクマガジンにディスクが装着されていません。	ディスクマガジンを取り出してディスクを装着してください。
ER E ER L ER R ER P	何らかの理由でCDオートチェンジャーが作動しません。	CDオートチェンジャーのリセットスイッチを押してください。（CDオートチェンジャーの取扱説明書を参照してください）
SC HOT	本機の温度保護回路が作動しました。	温度が下がるまで待ってください。

外部機器を聞くには

1. 接続方法に従って、アナログ外部機器を正しく接続します。
2. ラジオ、CDもしくはCDオートチェンジャーから外部機器を聞くには、❸ MUTE/AUX ボタンを2秒以上押すとアナログ外部機器入力に切り替わります。

   アナログ入力（AUX）

   RCAアナログ入力端子に接続された外部機器をアナログにて再生します。接続された外部機器の出力レベルに合わせて、外部機器入力レベルを調整します。

   ① 外部機器を再生状態にし、本機のファンクションを切り替えて音量を確認します。

   ② 調節つまみを押し、AUXボリウムモードにします。

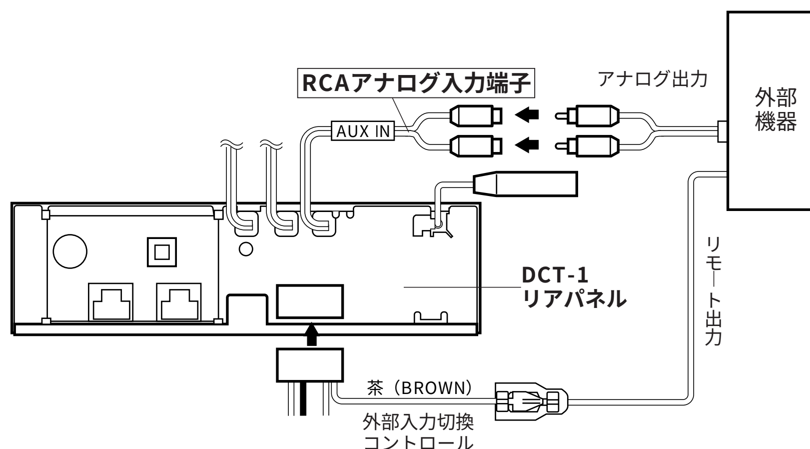
   ③ 外部機器のレベルが大きい場合はAUX LVを左方向（－）、小さい場合は右方向（＋）に回して音量を調節します。（18ページを参照してください。）

ご注意

- 本機背面にあるデジタル出力端子（OPTICAL）からはデジタル信号は出力できません。

★接続される外部機器にリモート出力がある場合、外部機器を操作することで自動的にファンクションを切り替えることができます。

《接続方法》（接続詳細は14ページを参照してください。）

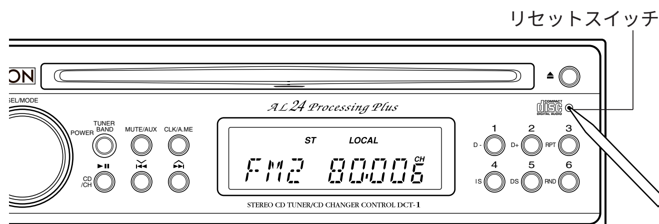


1. 接続する外部機器のアナログ信号を本機のRCAアナログ入力端子に接続します。
2. 接続する外部機器のリモート出力を本機の外部入力切換コントロールに接続します。
3. 接続した外部機器を動作させると、自動的にファンクションがアナログ外部機器入力に切り替わります。

ご注意

- 接続される外部機器によっては正しく切り替わらないことがあります。
- 外部入力切換コントロール端子には、バッテリー電圧より高い電圧を加えないでください。
- 接続される外部機器によっては切り替え時、本機よりノイズが出ることがあります。その際は、手動で切り替えてください。

リセットスイッチについて



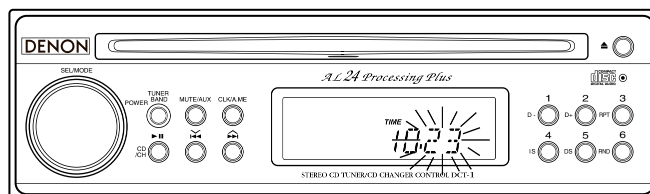
1. リセット機能

電源を最初に接続するときや、外部からのノイズ等でディスプレイが誤動作するときは、つま楊枝のような先の細いものでリセットスイッチを押してください。

ご注意

- リセットスイッチを押すときは、音量を最小にしてから押してください。
- リセットスイッチを押すと、プリセットチャンネル1〜6に登録されている放送局を始め、メモリに記憶されていることはすべてクリアされます。時刻も12：00にリセットされます。
- 金属のピンなどの鋭利なものや、ボールペンなどのインクの付着するものでリセットスイッチを押さないでください。
- リセットスイッチを押しても問題が解消しない場合は、お買い上げ販売店にお問い合わせください。

時刻の表示と調整



1. 時刻表示

- ❹ CLK/A.ME ボタンを押すと約5秒間、現在時刻を表示します。

2. 時刻調整（OFFモードの時のみ操作可能）

1）❷ POWER TUNER BAND ボタンを2秒以上押してOFFモードにします。
2）❹ CLK/A.ME ボタンを2秒以上押すと、バックライトとディスプレイがオンになります。
3）❶ 調節つまみで点滅している時設定を調整してください。
4）❹ CLK/A.ME ボタンを押すと分の表示が点滅して分調整モードになります。
5）❶ 調節つまみで分設定を調整してください。
6）❹ CLK/A.ME ボタンをもう1度2秒以上押してください。
時刻は調整された時刻設定から開始します。

ご注意

- 本機が動作しているとき、時刻を調整することはできません。
- 本機を使用する環境によっては、時計が進んだり遅れたりすることがあります。

11 故障かな？と思ったら

故障？と思っても、もう一度確かめてみましょう

■ 各接続は正しいですか
■ 取扱説明書に従って正しく操作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、電源を切り、お買い上げ販売店にご相談ください。

現　象	原　因	処　置
電源が入らない （音が出ない）	ヒューズが切れている	お買い上げ販売店にご相談ください。
	配線が不完全	お買い上げ販売店にご相談ください。
CDがすぐ出てしまう	CDを裏表逆に入れている	CDのレーベル面を上にして入れてください。
音飛びする ノイズなどが入る	CDが汚れている	CDを柔らかい布でふいてください。
	CDに大きい傷やソリがある	CDを無傷なものに交換してください。
	本機の取り付けが不完全	お買い上げ販売店にご相談ください。
電源を入れた直後CDが再生できない	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴が付くことがあります。	電源を入れた状態にして充分レンズを乾燥させてください。
ボタンを押しても動作しない ディスプレイに正確な表示がされない	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	リセットスイッチを押してください。 詳しくは28ページを参照してください。

12 主な仕様

〈FMチューナー部〉

実用感度	14.8dBf 1.5μV（75Ω）
50dBクワイティング感度	20.3dBf 2.8μV（75Ω）
選択度	100dB
SN比	70dB（IHF-A）
分離度	40dB（1kHz）
キャプチャ・レシオ	2.5dB

〈AMチューナー部〉

実用感度	30μV

〈CDプレーヤー部〉

周波数特性	5Hz〜20kHz±1dB
ダイナミックレンジ	110dB
SN比	115dB（IHF-A）
高調波ひずみ率	0.004%

■信号フォーマット

標本化周波数	44.1kHz
量子化数	16 bit リニア/チャンネル
伝送ビットレート	4.3218Mb/秒

■デジタル出力信号フォーマット（本機で再生するCDのみ）

フォーマット	DIGITAL AUDIO INTERFACE (44.1kHz)
OPTICAL光出力	−15dBm〜−21dBm
発光波長	660nm

〈AUX部〉

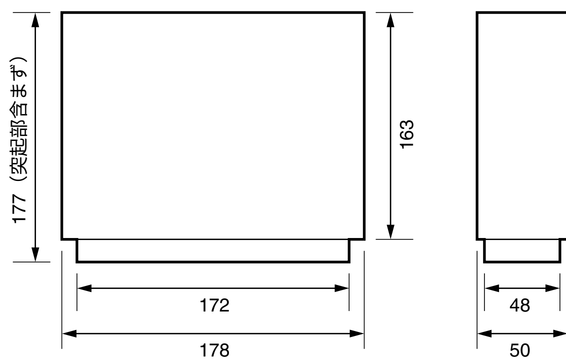
入力感度（アナログ）	0.5V〜2.0V
入力インピーダンス	30kΩ

〈オーディオ部〉

出力電圧	4.0V/負荷10kΩ（RCA出力） 8.0V/負荷10kΩ（バランス出力）
トーンコントロール	BASS ：±12dB（100Hz） TREBLE：±12dB（10kHz）
リモート出力	12V 500mA 最大
パワーアンテナ出力	12V 500mA 最大

〈共通部〉

電源電圧	DC14.4V（11〜16V）
接地方式	マイナス接地
外形寸法	本 体：178 (幅)×50 (高さ)×163 (奥行き) mm（突起部含まず）
質量	1.7kg



※改良のため仕様及び内容を予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

本製品に関する修理ならびにお問い合わせは、お買い上げ販売店もしくはデノン・カーオーディオお客様相談窓口までお願いいたします。

デノン・カーオーディオお客様相談窓口

株式会社 アルファオーディオ（デノン・カーオーディオ総代理店）

本　社	〒816-0912 福岡県大野城市御笠川3丁目13-1 TEL（092）503-1837
東京営業所	〒130-0021 東京都墨田区緑1丁目4-17 TEL（03）5624-3553

製造元：株式会社デノン　本　社　〒113-0034　東京都文京区湯島3-16-11

後日のために記入しておいてください。	
購入店名：	電話（　-　-　）
ご購入年月日：	年　月　日

Printed in Japan　511 3924 007